

1 事業内容

団体名	くしろ元町フットパスを広め隊
事業名	フットパスを利用した周遊ルートづくり
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	私たちは、7年前から橋南地区（通称「元町」）で「歩くことで地域を元気にする活動」＝「フットパス」の活動に取り組んできました。この活動を通して多くの魅力的な地域資源を発掘し、その価値を地域の人々と共有できるようになりつつあります。また、年数回開催するフットパス・イベントを通して元町以外の人、長期滞在者、大型客船で来訪する外国人観光客にも地域の魅力を発信するよう努めてきました。 この活動をさらに広めるためには、地域を知らない来訪者が個人でも気軽にフットパスを楽しめるように昨年度は、①フットパス・コースのマップや、道標の作成 ②地域の人々が、来訪者を歓迎する仕組みづくり ③地域外への効果的な広報活動が必要と考え動画を製作してきました。 さらに今年度は、昨年度の実績を踏まえ、さらに付加価値をつけ、自らのスキルアップが求められています。
事業目的	フットパスを通して、地域のつながりと来訪者に対する歓待意識を醸成し、地域が潜在的に有する魅力を釧路内外の人にさらに効果的に発信すること。
事業概要	①フットパスコース・第2コースの道標作成（5ヶ所） ②道標に付加価値としてQRコードで情報の高度化 ③来訪者への歓待意識から、自ら地域案内人としてスキルアップ
事業展開	①昨年作成したマップの第2コース（川～港～海辺）に標識設置（昨年度、第1コースに設置済み） ②標識で道先がわかると同時に、QRコードを貼り付け、そのポイント周辺の歴史やエピソードを写真、動画で紹介。 ③スキルアップのための講習会及び勉強会
成果目標の達成状況	・さらなる情報の提供により、滞在時間の延長 ・来訪者と地域住民の交流が生まれ、釧路をより知ってもらう。 ・受け入れ態勢の1ランクアップ。元町ファンの増加。

波及効果の達成状況	魅力発信のツールに磨きをかけ、ガイドスキルの向上で、関係人口が増加し、対岸（橋南地区）を含めた中心市街地の活性化。中心市街地に対する住民意識の変革。
実施体制	くしろ元町フットパスを広め隊が運営主体となり、地域住民、地元町内会、くしろ元町青年団、米町ふるさと館、港文館、幣舞ガイドセンターなどと連携。
連携した市担当課	無 ・ 有 （産業振興部 観光振興室 ）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	来訪者へ案内誘導

2 支出決算書と支出内訳

（収入）

費目	決算額（円）	内訳
輝くまちづくり交付金	250,000	
自己資金	347	
合 計	250,347	

（支出）

費目	決算額（円）	内訳
対象経費		
消耗品費	66,000	道標 6ヶ所 × @11,000
委託料	120,000	QRコード、データ作成
委託料	30,000	〃（長谷川こうき）
委託料	18,000	講師招へい（3人）
会場費	12,410	大成寺他
消耗品費	3,937	コピー代他
小 計	250,347	
対象外経費		